



特定非営利活動法人  
TICAD 市民社会フォーラム  
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-21-1  
早大西早稲田ビル 7F プロジェクト室  
613-6 号室  
早稲田大学 アジア太平洋センター気付  
TEL/FAX : 03-5286-8261  
e-mail: office@ticad-csf.net

特定非営利活動法人  
(特活)アフリカ日本協議会  
〒110-0015 台東区東上野 1-20-6  
丸幸ビル 2階  
電話: 03-3834-6902  
FAX: 03-3834-6903  
e-mail: info@ajf.gr.jp



## 市民社会をアフリカ開発会議（TICAD）プロセスへの対等なパートナーに TICAD 共催者への呼びかけ

特定非営利活動法人 TICAD 市民社会フォーラム

代表 大林 稔

特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会

代表 林 達雄

### 要 旨

#### 1. アフリカが真のパートナーとなる TICAD へ

TICADIVの開催に際しては、主催者である日本政府に加えて、アフリカの政府や、市民社会の代表が共催者として名を連ねる形としてください。

#### 2. 市民参加の TICAD へ

アフリカの市民社会を、TICAD 共催者に加えてください。また、アフリカと日本の市民社会を開発の平等なステークホルダーと認め、オブザーバーとしてではなく正式なメンバーとして参加を受け入れてください。

#### 3. 人々 (people) を向いた TICAD へ

TICADIV を、アフリカ政策に関する日本とアフリカの人々へのアカウンタビリティを果たす場としてください。

### はじめに

私たち、(特活)TICAD 市民社会フォーラムと(特活)アフリカ日本協議会は、第4回アフリカ開発会議(TICADIV)に向けて、日本国内で、アフリカへの理解の促進とアフリカ問題への積極的な取り組みへの機運を盛り上げる一方、アフリカおよび日本の市民の声がTICAD プロセスに活かされるように願っております。

アフリカの人々は、さまざまな困難と闘いながら、貧困問題の解決と人間的発展のために努力しています。近年の経済成長と社会指標の改善からは、これらの人々の努力が実る環境が整いつつあることが分かりますが、まだ多くの課題が解決されていないことは周知のとおりです。



特定非営利活動法人  
TICAD 市民社会フォーラム  
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-21-1  
早大西早稲田ビル 7F プロジェクト室  
613-6 号室  
早稲田大学 アジア太平洋センター気付  
TEL/FAX : 03-5286-8261  
e-mail: office@ticad-csf.net

特定非営利活動法人  
(特活)アフリカ日本協議会  
〒110-0015 台東区東上野 1-20-6  
丸幸ビル 2 階  
電話: 03-3834-6902  
FAX: 03-3834-6903  
e-mail: info@ajf.gr.jp



我々は、こうした時期に日本が 2008 年に TICADIV を開催することを歓迎すると同時に、TICAD の歴史で初めて、ケニアで開催される閣僚会議でサイドイベントとして市民社会が市民社会セッションを主催できることを喜んでいきます。また、2008 年の G8 主催国として、日本が国際社会に対して、アフリカ支援の取り組みの一層の強化を働きかけることを期待しています。同時に我々は、TICADIV を、アフリカ政策の改革の第一歩とすることを要求します。この改革は、以下の三点を基礎にするべきと考えています。

## 要望

### 1. アフリカが真のパートナーとなる TICAD へ

現在の TICAD の枠組みには、アフリカの政府や市民社会を代表する共催団体が存在していません。アフリカの代表性が確保される運営方式に改めるべきだと考えます。TICADIV の開催に際しては、主催者である日本政府に加えて、アフリカの政府や、市民社会の代表が共催者として名を連ねる形としてください。

### 2. 市民参加の TICAD へ

アフリカの市民社会はアフリカ開発の対等なステークホルダーです。また、日本の市民社会は、アフリカの市民社会と連携して積極的にアフリカ開発に取り組んできました。アフリカの市民社会を、TICAD 共催者に加えてください。また、アフリカと日本の市民社会を開発の平等なステークホルダーと認め、オブザーバーとしてではなく正式なメンバーとして参加を受け入れてください。

### 3. 人々 (people) を向いた TICAD へ

TICADIV を、アフリカ政策に関する日本とアフリカの人々へのアカウントビリティを果たす場としてください。TICAD において、日本の対アフリカ ODA の成果と教訓を明らかにし、ODA を今後どのように活用するか、公開での議論を保障してください。

以上